

U35 実践 アイデアコンペ

日光市
今市

寄り道したくなる
まちや建築のアイデア、
募集します。

三叉路の宿場町を、 現代のハブへ

日光市今市は、三つの街道が交わる宿場町として人・モノ・情報が集まる場として発展してきました。本コンペでは、その歴史的な役割を現代の視点で再解釈し、街道を人と地域をつなぐ「ハブ」として捉え直します。地域の日常や文化を継承しながら、歩く、集う、働く、泊まる、学ぶといった多様な活動が生まれる、新たな今市の姿を提案してください。



エントリー



応募締切

2026 10.21 (水)



日光市今市

U35 実践アイデアコンペ

応募資格

- ・2026 年 10 月 21 日時点で 35 歳以下の建築、都市計画、ランドスケープ、デザイン、観光、地域づくり等に関心を持つ方
- ・11 月 21 日のアイデア構想会議と 12 月 19 日の最終審査会に対面で参加可能な方
- ・個人またはグループ(最大 4 名)

スケジュール

応募開始	まちあるきWS vol.1～vol.2	応募締切	一次審査 結果公開	アイデア 構想会議	中間展示	公開最終 審査会	最終展示
8 月 17 日 (月)					応募開始		
9 月 5 日 (土)	14:00～16:00				現地まちあるきワークショップ vol.1	集合場所 東武鉄道下今市駅	
9 月 23 日 (水・祝)	14:00～16:00				現地まちあるきワークショップ vol.2	集合場所 東武鉄道下今市駅	
10 月 21 日 (水)					応募締切		
11 月 2 日 (月)					一次審査結果公開		
11 月 21 日 (土)	14:00～17:00				アイデア構想会議 @日光市役所		
11/22～12/18					中間展示		
12 月 19 日 (土)	14:00～17:00				公開最終審査会 @道の駅日光ニコニコ本陣多目的ホール		
12 月 20 日～1 月 19 日					最終展示		

審査員 (五十音順)

- 伊藤 麻里 (建築家 / UAO 株式会社代表)
- 遠藤 康一 (宇都宮大学 地域デザイン科学部 建築都市デザイン学科 准教授)
- 大嶽 陽徳 (宇都宮大学 地域デザイン科学部 建築都市デザイン学科 助教)
- 熊谷 玄 (STGK Inc. 代表 ランドスケープデザイナー)
- 田中 元子 (株式会社グランドレベル代表取締役社長)

賞

- ・最優秀賞 1 作品【賞品：日光彫の盾】
- ・優秀賞 2 作品【賞品：日光杉のペン (人数分)】
- ・市民賞 1 作品【賞品：隠居うわさわの朝食券 (人数分)】
- ・ファイナリスト 7 作品 (上記入賞作品含む)【賞品：今市の食べ物詰め合わせ (人数分)】

・最優秀賞と優秀賞は審査員によって決定し、市民賞はファイナリストの作品を展示をし、市民の皆さんによる投票によって決定します。

・ご提案いただいた作品は、提案者の了承を得た上で、今後の「未来ビジョン」に反映させていただく可能性があり、本コンペ終了後はアイデアを形にする「まきコンペ実装フェーズ」へと移行し、分科会を立ち上げる予定です

申込方法

本コンペウェブサイトより事前登録をした上で応募作品をデータで提出してください。

提出物：A3 ポスター 1 枚 (横使い PDF)



コンペ概要

日光市今市は、日光街道・例幣使街道・会津西街道の三つの街道が交わる宿場町として発展してきました。古くからたくさんの旅人や商人が行き交うこのまちは、「三叉路の宿場町」と捉えることができます。しかし現代では、多くの人にとって今市は目的地へ向かう途中の通過点となっています。本コンペでは、街道を単なる歴史資源として捉えるのではなく、人と人、人と地域をつなぐ『ハブ』として再解釈します。さらに、そこに地域の日常や文化の継承という視点を重ね合わせることで、歩く、集う、働く、泊まる、学ぶといった多様な活動が生まれる新しい今市の姿を提案していただきます。

かつて宿場町として栄えた今市を、現代における新たなハブとしてアップデートするアイデアを募集します。

開催の経緯

日光市と、地域の民間事業者・関係団体が連携し、日光市今市の中心市街地(二社二寺一尊エリア)の将来像を描く「未来ビジョン」の策定を進めています。その具体化に向け、若者視点の空き家や未利用地、公共空間の活用提案を募り、地域との対話を通じて実践に繋げることを目的として本コンペを開催します。

対象地

市有地と一部空き店舗のある店舗群



主催 いまいちコレカラ会議
(エリアプラットフォーム)

共催 一般社団法人まちあそびラボ
日光市